

# 「神話のふるさと」秋の宮崎・古代日向の旅



2020年 **ご旅行期間とご旅行代金**  
**10月21日(水)発~10月26日(月)着…¥268,000**  
**一人部屋利用追加料金 ¥39,000**



## ご旅行条件

- 募集人員 / 18名様定員
- 最少催行人員 / 10名様
- 全食事付 / 朝食5回・昼食5回・夕食5回 (昼食・夕食はお座敷になる場合がございます。予めご了承ください)
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- ※日本各地から出発して、羽田もしくは宮崎空港にて合流するプランも承ります。
- ※トランクケース・ポストンバッグ等無料託送サービス
- 【ご自宅~空港~ご自宅】(お一人様1ヶ)
- ※3名1室も承ります[¥6,000引き]。

高千穂の里と霧島・高千穂の峯の二つの天孫降臨伝説の地をはじめとして、海幸彦山幸彦伝説、神武東征、天の岩戸伝説など神話と歴史のロマンを秋の宮崎に訪ねます。

## 国見ヶ丘の雲海

神武天皇の御孫にあたる**建盤竜命**が筑紫の国(九州)統治の命を受け、下日向県を経て阿蘇に向かう途中、ここで四方を望まれました。これにより「国見ヶ丘」と呼ばれるようになりました。  
 東に五ヶ瀬川清流に沿って高千穂盆地、西には阿蘇外輪山や五岳、北には九州の尾根・祖母山の連峰がそびえ、南には二上山に続く椎葉の山々が連なっています。標高513mの国見ヶ丘は**高千穂の雲海の名所**としても知られております。  
 雲海を見るためには秋(9月中旬~11月)の**早朝**、昼と夜の気温差が大きいこと、そして湿度等が条件となります。冬場は気温が低すぎて雲海はできません。本格的な素晴らしい雲海が見られるのは、年に数回程度と言われておりますが、秋はそれに準ずるものを眺めるチャンスが多くなります。  
 神話の里で、感動的な雲海とそこに登るご来光をご覧いただけることを願っております。[※天候次第ですので全くご覧いただけない場合もございます。予めお含みおきください。]

## ご利用予定ホテル(2名1室利用)

- 日南海岸 / 南郷プリンスホテル
- 霧島温泉 / 霧島ロイヤルホテル、霧島観光ホテル
- 宮崎 / ホテルプラザ宮崎、ホテルマリックス、宮崎観光ホテル、シエラトングランデリゾート
- 高千穂 / ホテル高千穂、ホテル神州、ホテル四季見、国民宿舎穂高

## ご利用予定バス会社

- 宮崎交通、高崎観光バス、ウエルネス都城観光バス、みやざき高山観光バス、延陵観光、三和交通、日の出交通、永峰観光バス、美登観光バス、ハッコートラベル ※バスはお一人様2席利用です。
- ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになれるよう万全の手配努力を致します。
- ※表記の[☑][☒][☒][☒]はそれぞれ「朝食・昼食・夕食」を示します。☒印の食事は含まれておりません。

日	都市名	スケジュールと見どころ／お食事と宿泊地
1	千歳空港 宮崎空港 青島	<p><b>スーツケース無料託送サービス ご自宅~空港</b></p> <p>午前、千歳空港より全日空にて、羽田空港で乗継ぎ、南九州の宮崎空港へ[07:30発/11:25着]。                  着後、専用バスにて、<b>国の天然記念物</b>で『<b>鬼の洗濯板</b>』と呼ばれる波状岩で知られる青島へ。昼食は解禁された<b>旬の宮崎イセエビ</b>です。島の中にあつて、<b>海幸山幸神話</b>に因み、1200年以上も前からあると伝わる<b>青島神社</b>を観光します。彦火火出見命(山幸彦)と豊玉姫命の夫婦神を祭るため、縁結びにご利益があるといわれています。                  ご宿泊は、<b>雄大な海や緑豊かな大島が一望できる南郷プリンスホテル</b>です。</p> <p>[日南海岸泊]☑☒☒☒</p>
	日南海岸 鶴戸	<p>朝、専用バスにて、日南海岸を南下し、日向灘に面した自然の洞窟の中に朱塗りの本殿が建ち、神武天皇の父・<b>鵜草葺不合命</b>を主祭神に祀る<b>鶴戸神宮</b>の観光へ。断崖下の美しい社殿をご覧いただけます。                  その後、かつて伊東氏五万一千石の城下町として栄え、『九州の小京都』ともよばれる<b>飩肥</b>へ。暮盤の目状に整備された町中に、古い石垣や武家屋敷が見られる「城下町の風情と情緒のある町」です。『<b>日本100名城</b>』にも選ばれている<b>飩肥城</b>の大手門や商人通り、武家屋敷通りなどへご案内します。大手門を下って商家資料館に向かう途中の脇道では、澄んだ水の中を泳ぐ、放流されたたくさんの鯉が見られます。                  『<b>飩肥天茶屋</b>』にて昼食の後、『<b>日本の滝100選</b>』にも選ばれている庄内川上流の幅40mの大滝・<b>関之尾の滝</b>へご案内いたします。滝の前にはつり橋がかけられ、滝を間近にご覧いただけます。                  その後、老杉が茂り荘厳な雰囲気<b>霧島神宮</b>の見学へ。6世紀に造られ、瓊々杵尊を祀っている古社です。天照大神は孫である瓊々杵尊がこの国を治めよと命じ、瓊々杵尊は三種の神器を譲り受け、7人のお供の神と1人の道案内の神と共に高千穂の峰に降りたという<b>天孫降臨の神話</b>に由来しています。</p> <p>[霧島温泉泊]☑☒☒☒</p>
	霧島温泉 生駒高原 小林	<p>午前、古事記・日本書紀にも出て来る天孫降臨の地・<b>高千穂峰</b>を眺めながら、霧島48湖のうち最大の大きさを誇り、4200年前の一回の噴火によってできた噴火口に湧水が流れ込んで生まれた火口湖・<b>御池</b>へ。写真ストップののち、約100万本の<b>コスモスが見渡す限り高原を埋め尽くす</b>、霧島山の北東麓の<b>生駒高原</b>へご案内いたします。                  ご昼食には『<b>小林地鶏の里</b>』にて<b>地鶏料理</b>をお召し上がりください。                  午後、宮崎県が「宮崎観光遺産」に認定し、「よろず生産の神」として古来より祀られてきた、浜の背川上流の<b>陰陽石</b>をご覧いただき、宮崎へ。途中、綾川渓谷に架かる高さ142m、全長250mの吊橋で、<b>遊歩橋としては世界一の高さ</b>とされる<b>綾の照葉大吊橋</b>や、綾の手紬染織工房にご案内します。ご夕食は『<b>隠れ里の懐石料理わらしべ</b>』にて<b>懐石料理</b>です。</p> <p>[宮崎市泊]☑☒☒☒</p>
3	綾 宮崎	<p>午前、古事記・日本書紀にも出て来る天孫降臨の地・<b>高千穂峰</b>を眺めながら、霧島48湖のうち最大の大きさを誇り、4200年前の一回の噴火によってできた噴火口に湧水が流れ込んで生まれた火口湖・<b>御池</b>へ。写真ストップののち、約100万本の<b>コスモスが見渡す限り高原を埋め尽くす</b>、霧島山の北東麓の<b>生駒高原</b>へご案内いたします。                  ご昼食には『<b>小林地鶏の里</b>』にて<b>地鶏料理</b>をお召し上がりください。                  午後、宮崎県が「宮崎観光遺産」に認定し、「よろず生産の神」として古来より祀られてきた、浜の背川上流の<b>陰陽石</b>をご覧いただき、宮崎へ。途中、綾川渓谷に架かる高さ142m、全長250mの吊橋で、<b>遊歩橋としては世界一の高さ</b>とされる<b>綾の照葉大吊橋</b>や、綾の手紬染織工房にご案内します。ご夕食は『<b>隠れ里の懐石料理わらしべ</b>』にて<b>懐石料理</b>です。</p> <p>[宮崎市泊]☑☒☒☒</p>
	宮崎 西都原	<p>朝、神武天皇とその父母を祀る<b>宮崎神宮</b>に参拝します。広大な森に囲まれ、社殿は<b>狭野杉</b>で造られています。神武東征以前は、ここに都が置かれていたとも言われています。宮崎の隠れ名物「<b>はにわ園</b>」にもご案内いたします。その後、宮内庁の御陵墓参考地の<b>男狭穂塚</b>と<b>女狭穂塚</b>の二基の古墳を中心に、311基の古墳が標高約70m小高い台地に点在する<b>西都原古墳群</b>の見学へ。遊歩道から円墳・前方後円墳・方形墳・帆立貝式古墳・地下式古墳など各様式古墳が眺められます。文化庁による第一号の『<b>風土記の丘</b>』です。</p>
	日向 (美々津)	<p>『<b>日向はまぐり碁石の里</b>』にてご昼食の後、日向灘に突き出た柱状節理の断崖絶壁が続く<b>日向岬</b>を観光します。一番の見どころは<b>馬ヶ背展望所</b>から望む断崖絶壁で、高さが70mもあり、そこからの迫力ある眺めは圧巻です。<b>馬ヶ背</b>の絶壁の間には、幅10m、奥行200mの海水路ができ、白い荒波が豪快に切り込んできます。岬の先端にある展望所まで馬の背のような遊歩道を進むと、先端からは180度以上のパノラマで海が広がり、弧を描く美しい水平線が眺められます。巨大な岩礁が十字に切り裂かれた<b>クルスの海</b>や、<b>神武天皇東征の際の出航の地</b>として知られる<b>美々津</b>へもご案内します。美々津は、江戸時代には高鍋藩の重要な港として海上交通の要地として栄え、中町には現在も「美々津千軒」と称された当時の町並みがよく残されています。瀬戸内船運の西端にあたるため、上方風の商家、水運業者の家、漁家が連なり、<b>国の重要伝統的建造物群保存地区</b>に選定されています。                  夕刻、専用バスにて、<b>神々の里・高千穂</b>へ。『<b>天孫降臨の地 高千穂に連泊</b>』です。</p> <p>[高千穂泊]☑☒☒☒</p>
4	高千穂 (国見ヶ丘)	<p>早朝、<b>国見ヶ丘</b>にバスで登ります。幸運に恵まれれば、<b>高千穂の雲海</b>を鑑賞できるチャンスがあります(注)。                  午前、天照大神が隠れた天若戸(洞窟)を御神体として祀る<b>天若戸神社</b>(禁足地の天若戸は神社から見下ろせる渓谷の中腹にあります)と天若戸から天照大神を外へ導こうと八百万の神々が集った<b>天安河原</b>、三代実録第一巻(858年)にも記述がある、高千穂八十八社の総社・<b>高千穂神社</b>と<b>山頭火</b>の「<b>分け入っても分け入っても青い山</b>」の歌碑を観光します。高千穂ガイド協会のガイドによる案内になります。<b>高千穂あまてらす鉄道</b>にも乗車します。30分の絶景の旅をお楽しみください。高千穂がまだせ市場でのショッピングもお楽しみください。                  『<b>あららぎの茶屋</b>』にて昼食。</p>
	高千穂(泊)	<p>午後、阿蘇山系の溶岩台地が浸食してできた<b>高千穂峽</b>へご案内いたします。高千穂峽の川幅が狭まった部分に流れ落ちる落差17mの『<b>日本の滝100選 真名井の滝</b>』と柱状節理の織り成す<b>五ヶ瀬川</b>渓谷の美しさに心が洗われます。特に神秘的な水の色が印象的です。自然と神話を一体として感じてください。<b>国の天然記念物</b>に指定されています。</p>
	高千穂(泊)	<p>また、やはり日本書紀で瓊々杵尊が天降った天孫降臨の地とされる二上山にあり、十世紀に創建された<b>三ヶ所神社</b>へもご案内します。彫りの技法や配置が独特でその建築スタイルと合わせ、近世の傑作と言われています。11代将軍徳川家斉の時代に施された74体の彫刻は、「<b>近世大工の贈り物</b>」と称されています。イザナミ・イザナギが乗って出現するという「<b>海馬</b>」など、それぞれの彫刻は神話を語りかけてきます。海馬の彫刻は国内で他に1社しか見つかっておらず、大変貴重なものです。秋は紅葉で色づく標高1060mの二上山は男岳・女岳に分かれ、山岳信仰の地として崇敬を集め、神々が宿るにふさわしい荘厳さを誇っています。</p> <p>[高千穂泊]☑☒☒☒</p>
5	高千穂 千歳空港	<p>午前、専用バスにて、熊本空港へ。着後、全日空にて、千歳へ[10:55発]。                  午後、千歳空港到着後、解散[14:30着]。</p> <p>[千歳泊]☑☒☒☒</p>
	千歳空港	<p>午後、千歳空港到着後、解散[14:30着]。</p> <p>[千歳泊]☑☒☒☒</p>